

IV 2013 年度（平成 25）年度「オープンクラス・ウィーク」実施報告

1. 実施概要

オープンクラスによる相互授業参観は、教員同士が互いの授業を公開し授業内容や方法について検討しあうことによって、授業方法に関する知識や技能を共有できるなど、多くのメリットがあることから、本学では 2011（平成 23）年度よりオープンクラスを実施し、一部の専任教員の授業を教職員に対し公開してきた。

2013（平成 25）年度は、一部の授業のみの公開では、時間帯が限られ授業を参観することが出来ない等の意見を受け、前後期各 2 週間のオープンクラス・ウィークを実施した。オープンクラス・ウィーク期間中は、原則として全ての授業を、本学の教職員と学生を対象に公開した。授業参観者から提出されたコメントシートの内容は、授業担当教員へ伝えられた。

2013（平成 25）年度「オープンクラス・ウィーク」実施状況

オープンクラス・ウィーク実施期間	のべ参観者数	参観者コメントシート提出数
6 月 17 日（月）～ 6 月 29 日（土）	69	57
11 月 18 日（月）～11 月 30 日（土）	18	18

2. 今後の課題と展望

2013（平成 25）年度「オープンクラス」参加者の人数のみをみると、前期はのべ参観者数が 69 名、参観者コメントシート提出数が 57 シート、後期はのべ参観者数が 18 名、参観者コメントシート提出数が 18 シートとなっている。2012（平成 24）年度（前期の参観者数が 45 名、後期の参観者数が 61 名）と比較すると、後期の参観者数が著しく減っていることがわかる。この減少の原因を詳しく分析する必要がある。

授業担当者が実施後に書き入れる「実施シート」には、「いつもと変わらない」という教員がいる一方、「参観者がいると、よい緊張感があり、授業をする張合いも出る」「学生も私語が少なくなり、授業が活性化したように思った」などのコメントがあった。参観者が記入する「参観シート」では、「学生同士でフィードバックさせるところが参考になった」「身近な具体例をあげて、わかりやすく説明していた」という肯定的な意見もあれば、「学生の私語をなくすように工夫した方がいい」「授業のポイントがわかりにくい」などのアドバイスのコメントも見られた。

今年度は本学の教職員 90 分の授業を最初から最後まで通してでなく、一部の時間だけでも参観可としたので、その点では参観しやすかったと思う。また参観する側も参観される側もコメントシートを通して、フィードバックを与え、また得ることができる仕組みになっているので、お互いに学び合うことができたのではないだろうか。今後もより多くの教職員と学生が参観でき、高い成果があがるようなシステムになるように、検討していきたい。

文責：鷲見 朗子（人間文化学部 FD・点検評価委員）